



積雪期の牛舎内外の作業安全について

冬期間は、積雪に伴い屋外での作業が増えます。
また、牛舎内も結露により滑りやすくなるため、冬の安全対策を徹底して事故に気をつけましょう。

1 屋外での作業安全

天気予報を常に確認し、除雪作業などにおいては、つぎの点に注意しましょう。

(1) 屋根の雪おろし

- 作業は必ず複数人で行いましょう。やむを得ず一人で作業をする場合は、家族に伝えてから行いましょう。
- 作業する時は、必ず携帯電話を持ち、家族と連絡がとれるようにしましょう。
- 滑りにくい靴、ヘルメットと命綱の装着等、作業安全の装備を徹底しましょう。
- 屋根の下への立ち入り制限を行い、人がいないかを必ず確認しましょう。

(2) 機械除雪作業

- 子どもや他の作業員、車両等、周囲に十分注意しましょう。
- 機械トラブルの時は必ずエンジンを停止させてから確認しましょう。
※北海道農作業安全本部集計によると除雪機による令和4年度の農作業事故は5件（うち死亡事故1件）発生しています。

2 牛舎内での作業安全

冬期間は、牛舎内外の温度差が大きいいため結露が起こりやすく、牛舎通路は滑りやすくなります。中途半端に凍っている場合は余計に滑りやすくなります。砂、畜産資材をすぐにまけるよう準備して使いましょう。

また、電気をしっかりつけて足下が確認できる体制で作業をすすめてみましょう！

牛舎内の結露対策

- 天気の良い日中は扉や窓を少し開けることで換気を促しましょう。インバーター付きの換気扇を設置している場合も、窓を少し開けるなど、入気口を確保した上で、ゆっくり換気扇を回すなど、できる範囲で換気を行いましょう。
※寒い環境においてエネルギー要求量が上がる乳牛にもりもり食べてもらうためにも換気は非常に大切です。
- 通路が結露などで濡れている場合は、ゼオライトなど滑り止め効果があるものを散布しましょう。



HPは「宗谷農業改良普及センター」で検索、またはQRコードから

当センターHP「乳牛・飼料作物ほか」もご参照ください。* 今月のおすすめは「子牛の寒冷対策」です。